

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年4月26日

第2号

畑の先生、ありがとうございます

4月6日（火）、環境ボランティアの上谷さん、折坂さん、角波さん、宮林さん、横堀さん、明石さんが畑の世話に来てくださいました。

冬の間、雪に重しをされた土は硬くなり耕すだけでも大変なところ、畝を作って、マルチシートもかけてくださいました。かなりの重労働であろうと思います。できあがった畝を見て、「子供たちのために」という温かい思いが伝わってきました。

畑の先生方、ありがとうございました。



学習参観・学級懇談会への参加、ありがとうございました

4月18日（日）の学習参観・学級懇談会に多数ご参加くださり、ありがとうございました。子供たちは、「張り切っている様子」「照れくさそうな様子」「緊張した様子」等、いろいろな姿で気持ちを表出していました。様子の違いはあっても、どの子もお母さん、お父さんに来てもらったのは嬉しいようで、素敵な表情を見せていました。

懇談会での担任との顔合わせは、如何でしたでしょうか。方針説明等から、熱い思いを受け取っていただけたのではないかと思います。

今後、気になることがありましたら遠慮無くご相談ください。子供にとってよいことを一緒に考えていきたいと思っています。



1年 「こんな時、どう言えばいいのかな？」



3年 「私はこういうふうに考えたよ」

交通安全教室を行いました

4月21日（水）、射水警察署、射水市役所生活安全課、交通安全協会、パトロール隊の方々に来ていただき、交通安全教室を実施しました。低学年は歩道の歩き方、横断歩道の渡り方を、中・高学年は自転車の乗り方を中心に実技指導をしていただきました。横断歩道を渡る際は左右をしっかりと確認すること、自転車に乗る際は点検をして左側から乗ること等、大事なポイントを分かりやすく教えてくださいました。

交通事故の多くは車によるものだそうですが、歩行者の「飛び出し」「横断歩道外横断」「信号無視」等が原因になっている場合があります。歩行中に事故に遭った場合は、ほとんどが人身事故になるため、とても危険です。また、子供たちは自転車にも乗るので、車両側になることもあります。従って、歩行者としてのルール、運転者としてのルールをしっかりと守る必要があります。

翌日の登校では、左右を確認してから横断歩道を渡る姿が見られ、教えてもらったことを意識していることが分かりました。

「自分の命は自分で守る」ことが大切です。教わったことが習慣化するように、ご家庭でも声かけをお願いします。



とっても素敵でしょ！

ブランコがある場所へ行くには、階段を降りなければなりません。しかし、その階段の手前のアスファルトがくぼみ、段差ができていました。「ここで躓いては危ない！」と思い、モルタルで段差を埋めました。作業を終えて目印となるようにカラーコーンを置き、放送でも知らせてもらいました。

長休みになって様子を見に行くと、A先生がそこにいて子供たちが踏まないように見てくれていました。昼にまた見に行くと、そこにはハードルが2つ置かれ通れないこと目印になっていました。誰が置いてくれたのかを尋ねるとB先生が置いたとのことでした。



誰が頼んだのでしょうか。いえ、誰も頼んではいません。A先生もB先生も頼まれてはいないのに自らの気づきでしてくれていたのです。金山小学校、素敵でしょ。